

株式会社 **プロシップ**

(証券コード：3763)

2018年3月期
第2四半期
決算説明会

2017年11月22日

東京証券取引所市場第一部へ市場変更

2017年9月7日に東京証券取引所市場第一部へ市場変更を致しました。
これからも、基本理念”Speciality for Customer”を基軸に、国内外でビジネスを展開される企業群に、高度・専門的で高品質なシステムソリューションを提案提供してまいります。



会社概要

社名	株式会社プロシップ 東証1部：3763
設立	1969年4月
資本金	431百万円
代表取締役社長	川久保 真由美
従業員数	164名(連結171名)
事業内容	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理
グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海

沿革	
1969年4月	システム開発を主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC- I』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC- I』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズ』を開発・販売
2005年3月	ジャスト証券取引所（現JASDAQ市場）に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立（日本バイタル社より営業譲渡）
2011年4月	受託・運用管理等事業を子会社(株)プロシップフロンティアに事業譲渡
2012年4月	ProPlusグローバル対応 本格展開開始
2013年4月	中国上海市にプロシップ上海設立
2013年8月	現物管理ソリューション『ProPlus Pit』開発・販売
2013年10月	賃貸借契約管理システムパッケージの新ソリューションを開発・販売
2015年6月	『ProPlus保守管理システム』を開発・販売
2016年4月	新バージョン『ProPlus固定資産システムVer6.0』を開発・販売
2016年10月	東京証券取引所 市場第二部に市場変更
2017年9月	東京証券取引所 市場第一部に市場変更
2017年10月	株式会社NSDと資本業務提携

ProPlus シリーズ製品ラインナップ

総合固定資産管理ソリューション

固定資産システム

リース資産管理システム

賃貸借契約管理システム

建設仮勘定サブシステム

棚卸サブシステム

設備発注システム

現物管理ソリューション

ProPlus Pit

販売管理ソリューション

販売管理システム

保守管理システム

新バージョン 2016年4月リリース完了

資産管理の未来がここに

VERSION 6 DEBUT

4000社を超える導入実績のノウハウが結集。
統合固定資産管理システム決定版!!



制度改正対応 2017年1月リリース完了

IFRS新リース会計対応版リリース!

IFRS16号に対応したリース資産管理システムを1月30日にリリースいたしました。
使用権資産とリース債務の一元管理を実現し、
1契約に対して複数基準対応と自動判定機能を実装いたしました。

[製品情報](#)



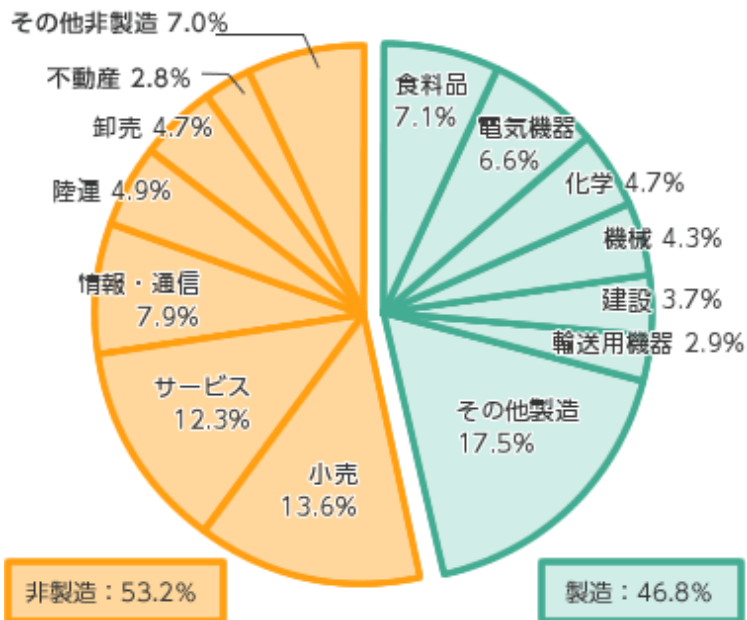
ProPlusシリーズの導入は4500社を超える

ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

ProPlusシリーズ 4,565社導入

(2017年9月30日現在)

【ProPlusの顧客業種】



※証券取引所の定める新業種区分 (33業種)

全ての企業に導入を頂いております。

業種	売上高ランキング におけるProPlus導入社数
食品業	上位20社中 11社
繊維製品	上位20社中 12社
化学	上位20社中 10社
小売業	上位20社中 11社
建設業	上位20社中 9社
鉄鋼	上位20社中 8社
情報通信業	上位20社中 8社
陸運業	上位16社中 7社
倉庫・運輸関連業	上位10社中 5社
不動産業	上位10社中 5社
電気機器	上位10社中 4社
精密機器	上位10社中 5社
非鉄金属	上位10社中 5社
ガラス・土石製品	上位5社中 2社
海運業	上位 5社中 3社
水産・農林業	上位 5社中 2社

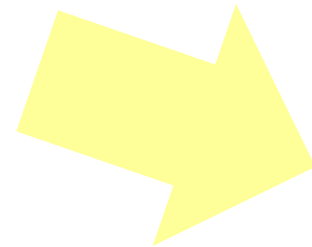
独自のポジショニングで価値を訴求



一般的な製品

Best of Breed

⇒各分野の最良の製品の組合せ



特徴的なポジション

制度改正が多く、システム対応を求められる頻度の高い固定資産管理の分野を、ERPから切出して、専門システムを組み合わせることで、システムの品質確保と高い機能網羅性を実現します。

各業種別のトップ企業、2社に1社がProPlusを導入



中日新聞社

TERUMO

Takashimaya

株式会社 ほんごころこめておつきあい
サカイ引越センター



SHIN-KEISEI
Shin Keisei Electric Railway Co., Ltd.

株式会社 大塚商会

AJINOMOTO.



RYOBI

「暮らしこころ」がテーマです。

SAPPORO

AsahiKASEI

亀田製菓株式会社

楽天銀行

新生銀行

DeNA

YAHOO!
JAPAN

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

ISUZU



KINTETSU

NISSIN
HOLDINGS

Fujikura

Sony Music

DAIHATSU

DUSKIN.
喜びのタネをまこう

KOBELCO



楽しい！がココにある
マツダレンタカー

みんなの食卓でありたい
松屋

Paraca

NISSHINBO

おいしさを笑顔に

KIRIN

TDK

日本板硝子

人がつくる。人でつくる。



戸田建設

ADK

odakyu

ニフレイ

紀文

中部電力

キョクヨー

YONEX



エネルギー・資源・素材のXを。
JX日鉱日石金属

I 2018年3月期 第二四半期連結業績

II 2018年3月期 連結業績予想と
今後の取り組み

2018年3月期 第2四半期 決算ハイライト

企業のIFRS対応・グローバル化対応によるシステム刷新ニーズが高まり売上高は増加。一方、人件費の増加に伴い、販売費及び一般管理費が増加しました。

対前期比 売上高 **2.4%増収** 経常利益 **5.5%減収**

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前期比 増減率
売上高	1,724百万円	1,765百万円	2.4%
営業利益	493百万円	466百万円	△5.5%
経常利益	508百万円	483百万円	△4.9%
経常利益率	29.4%	27.3%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	346百万円	333百万円	△3.9%

品目別受注実績 前年同期比較(第2四半期)

IFRS（国際会計基準）対応等の動きから、企業のシステム刷新ニーズは継続するも、大型の受注が下期となることから第2四半期の受注高は減少。

対前年同期比 受注高 **7.8%減**、受注残高 **7.7%増**

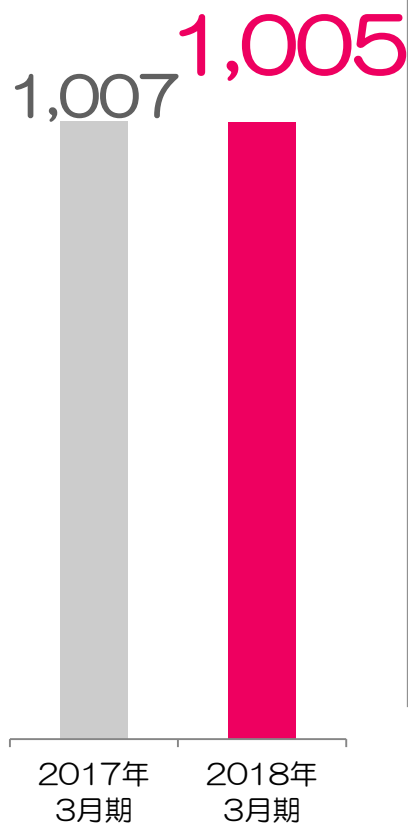
2018年3月期 第2四半期				
品目	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
パッケージ	1,291百万円	△2.9%	1,325百万円	18.5%
保守	572百万円	△14.7%	1,758百万円	1.2%
受託開発	15百万円	△68.5%	14百万円	△38.6%
運用管理等	42百万円	19.6%	44百万円	15.2%
合計	1,921百万円	△7.8%	3,143百万円	7.7%

品目別売上高 前年同期比較(第2四半期)

金額単位：百万円

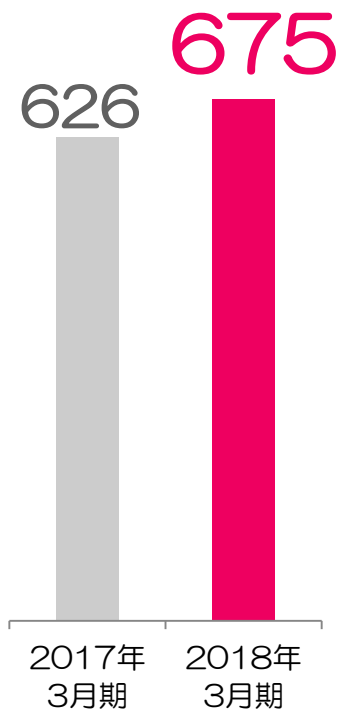
パッケージ

前年同期比△0.2%



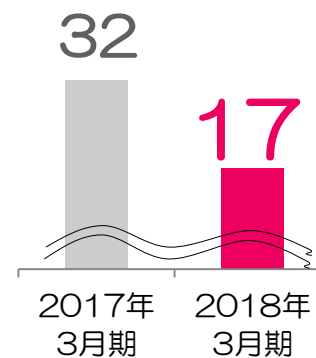
保守

前年同期比+7.7%



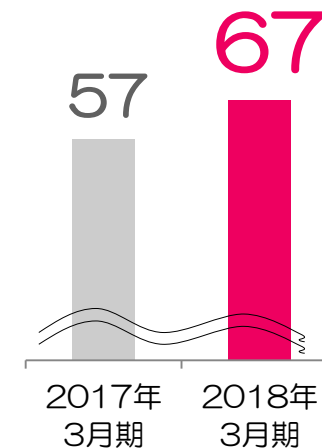
受託開発

前年同期比▲47.6%



運用管理等

前年同期比+18.5%



売上高の推移(第2四半期)

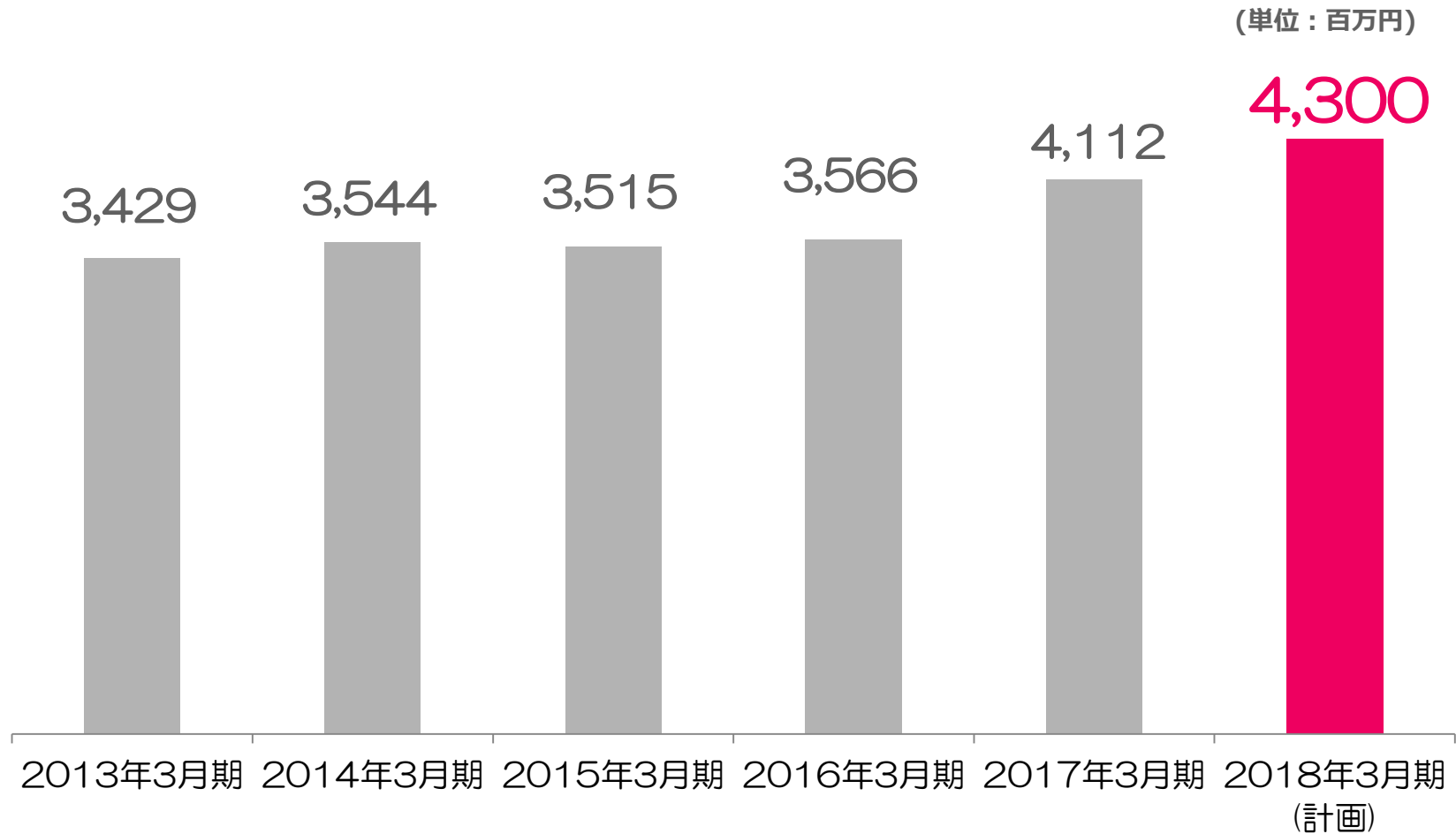
第2四半期売上高は、直近6年間で最高額と好調

(単位：百万円)



売上高の推移(通期)

通期では過去最高となる売上高43億を見込む



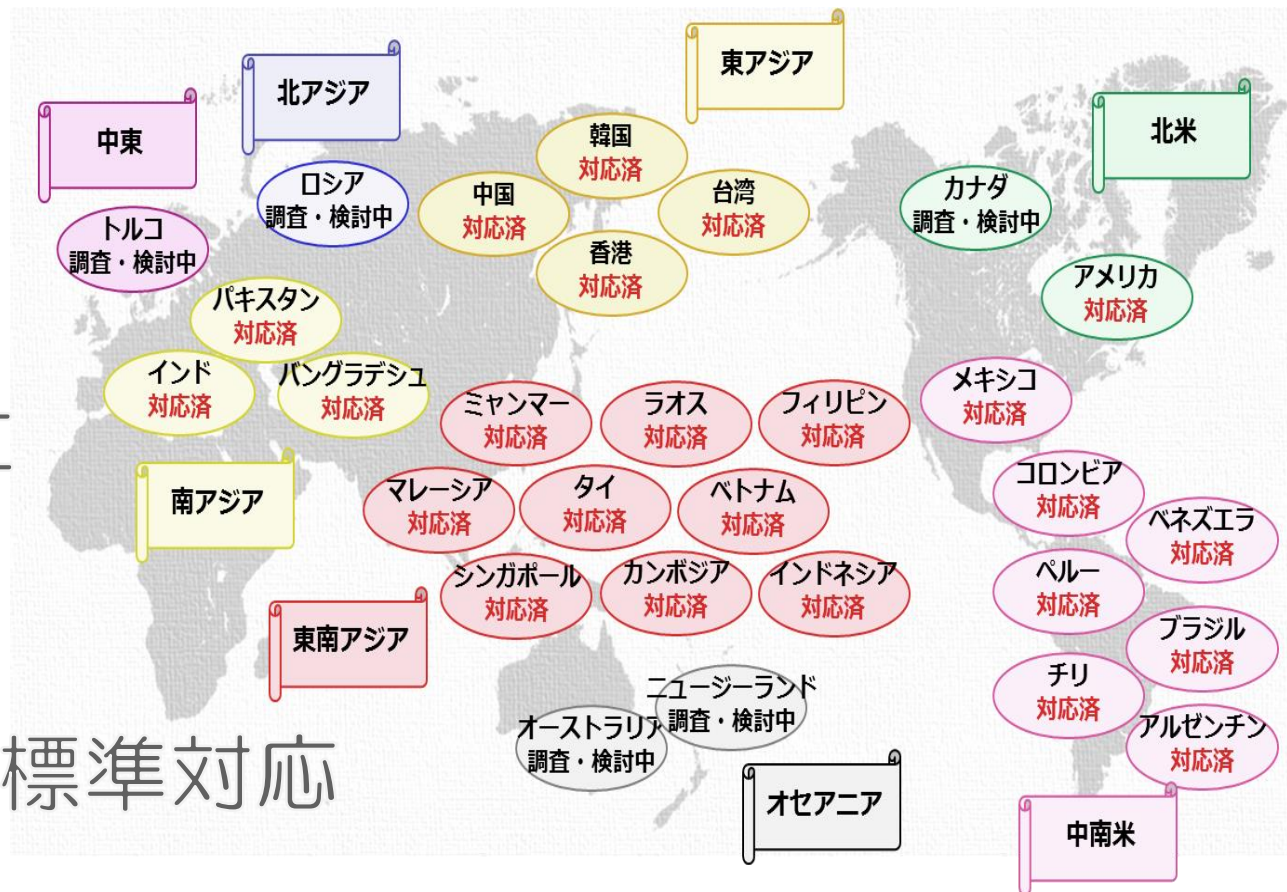
I 2018年3月期 連結業績

II 2018年3月期 連結業績予想と
今後の取り組み

グローバル企業の企業力向上に貢献

ProPlusは国産固定資産システム唯一の、海外税務標準対応パッケージ

ProPlusグローバルロードマップ



■ 導入実績

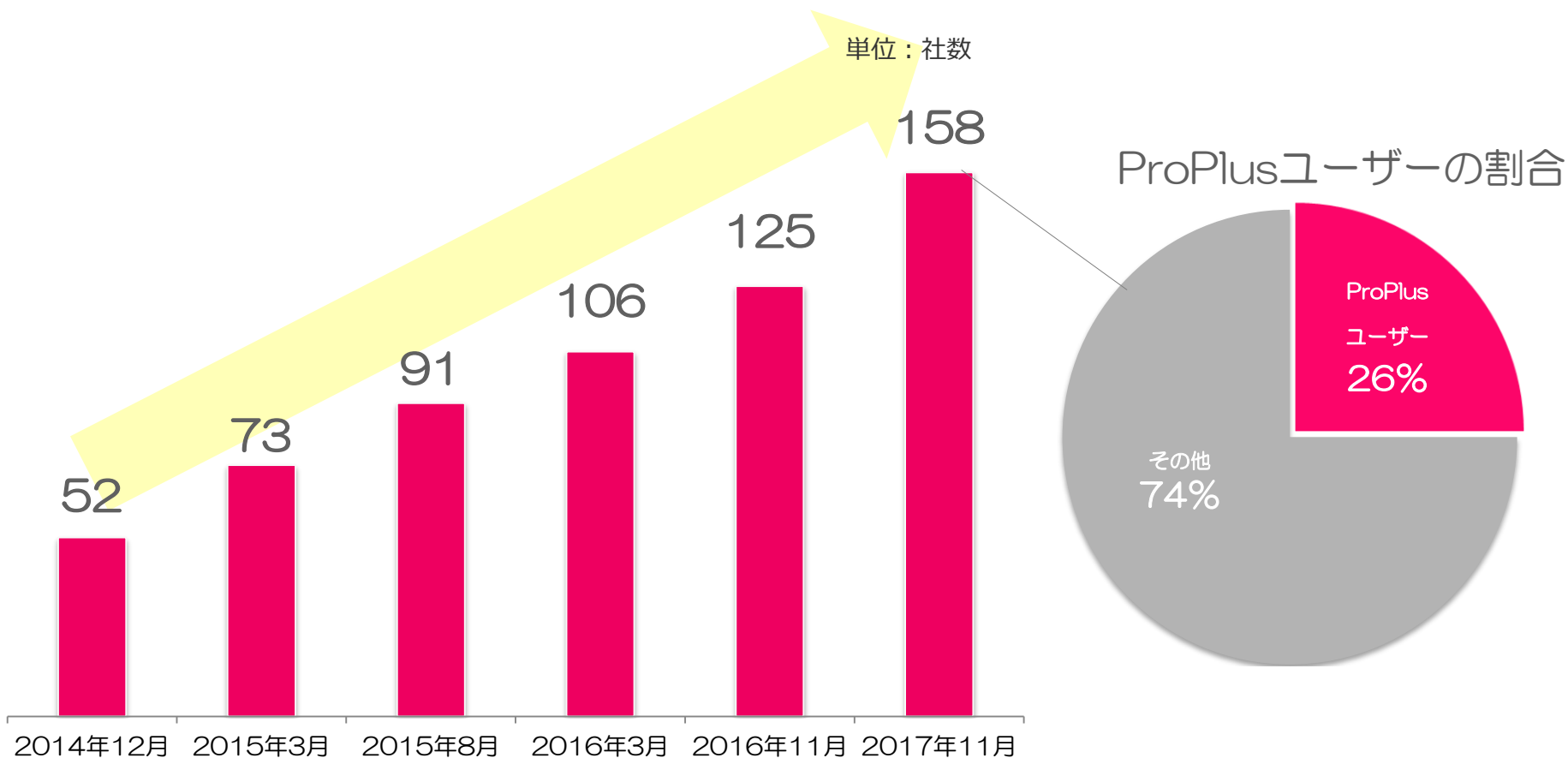
16ヶ国116社

■ 製品対応

24ヶ国の税務標準対応

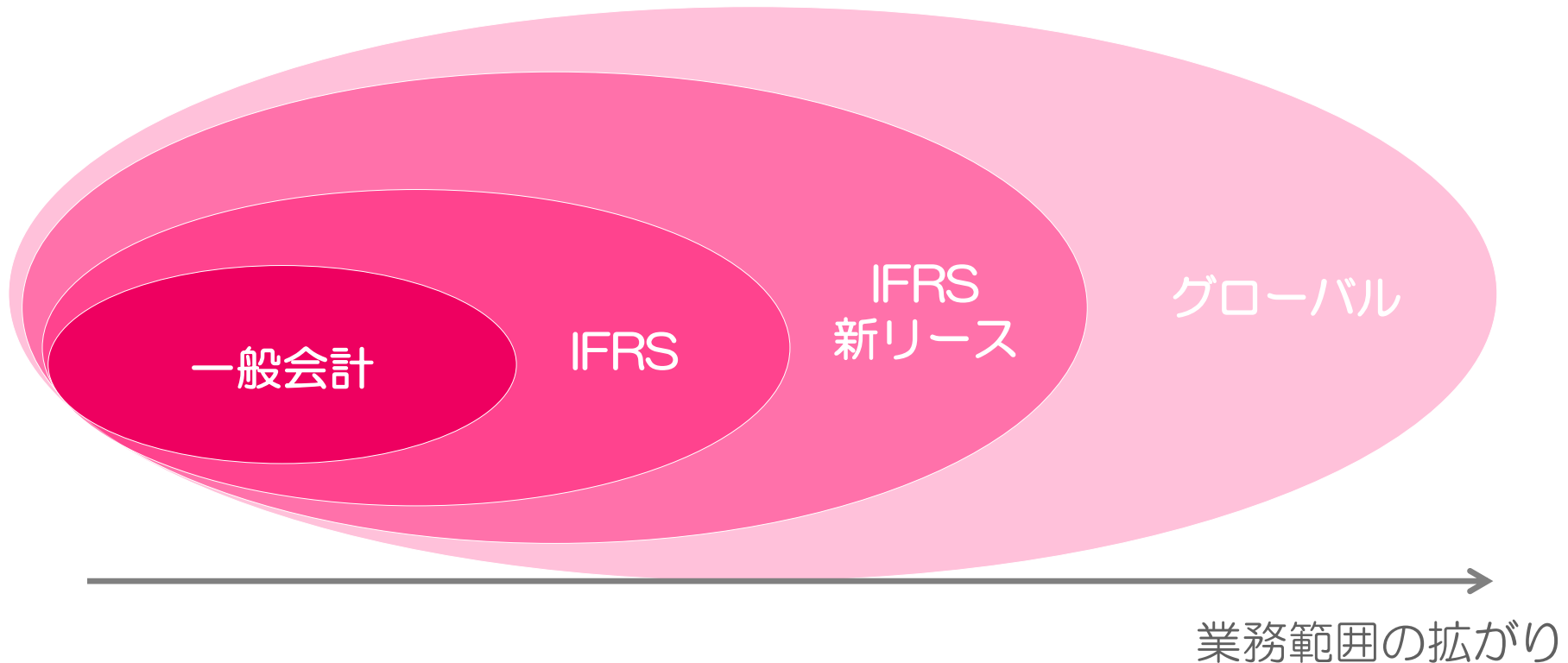
IFRS(国際会計基準)適用社数は年々増加

2017年11月現在において、上場企業の158社が適用済、または適用決定と表明しており、当社の受注もほぼ予定通りに進捗。



出展：東証HP IFRS適用済・適用決定会社一覧（11/9時点）

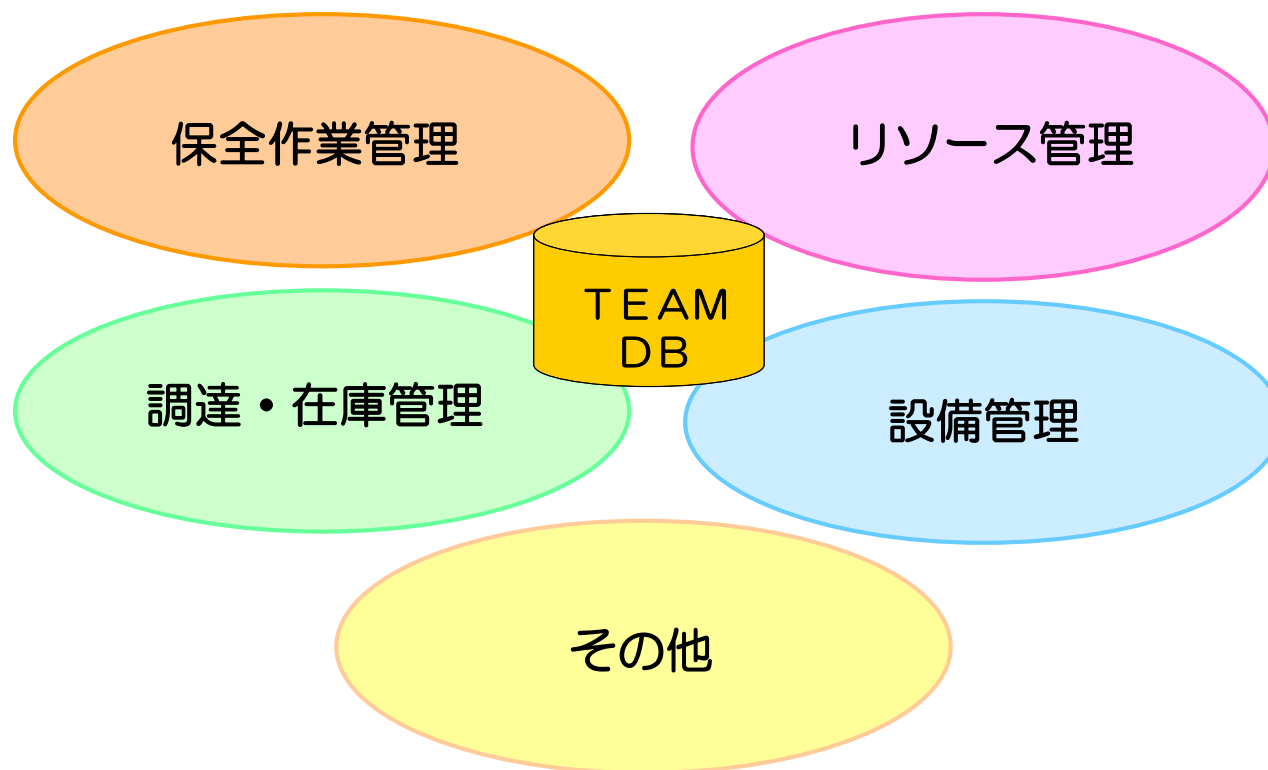
顧客業務の増加とシステム化ニーズの拡大



顧客業務の煩雑化・複雑化に伴うシステム化ニーズに対して、製品対応や機能強化により、製品Fit率を維持・拡大し、ProPlusを拡販します。

統合型固定資産管理ソリューション

現在の固定資産管理ソリューションの領域を広げ、固定資産のみならず、企業の設備に関するあらゆる情報を把握する仕組みである、統合型固定資産管理（Total Enterprise Asset Management）ソリューションの開発を進めていきます



2017年度 ポーター賞受賞



**PORTER
PRIZE-2017**

**Conference on
Competitiveness 2017**

November 29, 2017

AWARD WINNERS

KATITAS CO.,LTD **Net Protections, Inc.**
Pro-Ship Incorporated. **QB Net Holdings Co., Ltd.**



差別化された競争戦略が高く評価され、「2017年度ポーター賞」を受賞いたしました。

名誉ある賞の受賞を誇りと励みとし、市場の期待を超えるべく、さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

● ポーター賞とは

製品、プロセス、経営手腕においてイノベーションを起こし、これを土台として独自性がある戦略を実行し、その結果として業界において高い収益性を達成・維持している企業を表彰する。

名前は、ハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授に由来しています。

2018年3月期 通期業績予想

期初の通期業績予想から変更なし

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	4,112百万円	4,300百万円	4.6%
営業利益	1,544百万円	1,417百万円	▲8.3%
経常利益	1,575百万円	1,450百万円	▲8.0%
経常利益率	38.3%	33.7%	—
当期純利益	1,061百万円	970百万円	▲8.6%

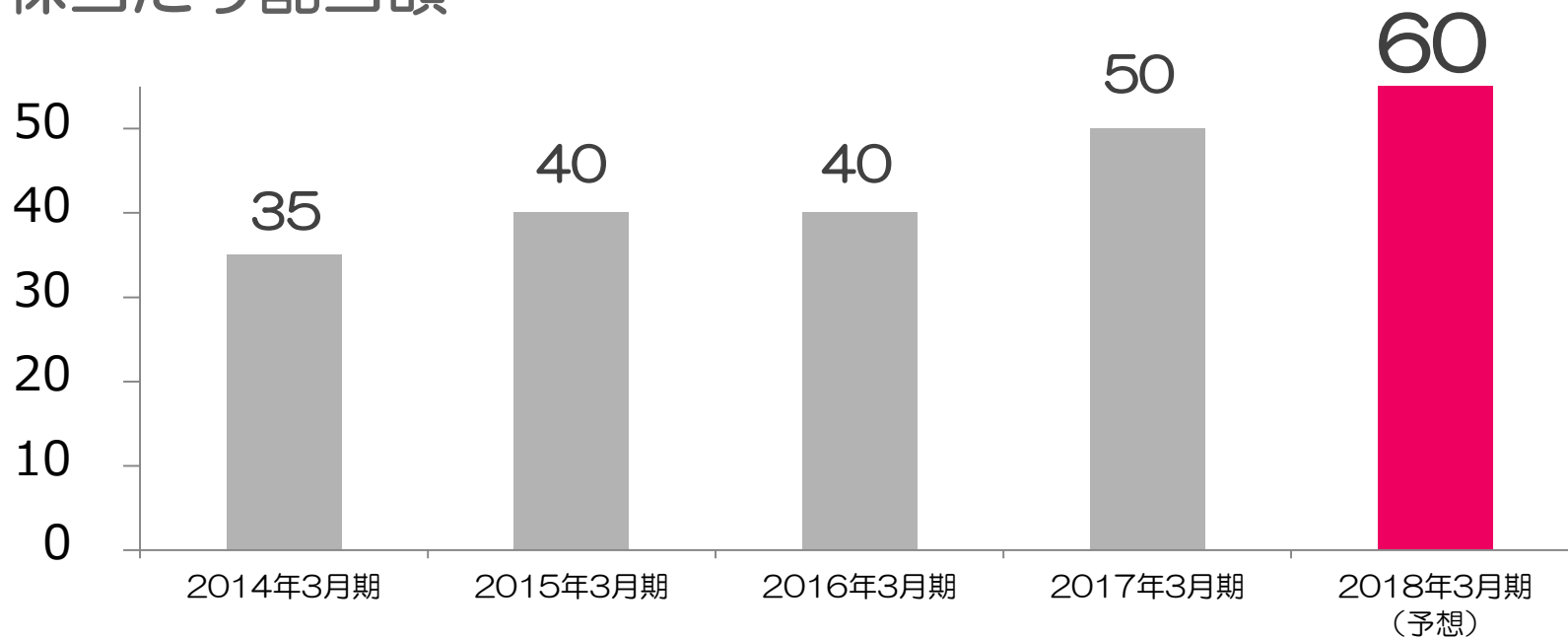
2018年3月期 配当予想

配当方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組みます

1株当たり配当額

(単位：円)



※2018年3月期、2017年3月期、2015年3月期は、記念配当を含んでおります。

※2014年3月期に株式分割（1⇒2株）を行ったと仮定しております。

本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。